

公益財団法人 前田記念工学振興財団
令和7年度 特別研究テーマ助成の募集

当財団では、平成29年より大学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校4年次以上及び専攻科の学生に対して、「特別研究テーマ」と題し、海外見学や海外現地での調査活動を主活動とする研究助成事業を実施しています。令和2年よりコロナ禍のため本事業の実施が困難でありましたが、国際社会がウイズコロナ、アフターコロナに移行していくなか、令和5年度より募集を再開しました。令和7年度には従前同様に、学生2名以上のグループにて海外を巡る研究活動を募集しますので、奮ってご応募ください。

1. 内 容： 自らの将来の研究活動に役立てたり提言したりするため、海外を実際に巡り、日本を含む各国に潜在する諸課題を把握・分析し、これを解決するための工学の将来課題を発掘する研究活動に助成します。
2. 助成対象： 日本国内の大学の工学（土木・建築・i-construction）系学部・専攻に所属する学部学生及び大学院生、並びに工業高等専門学校4年次以上及び専攻科の学生による2人以上のグループ。ただし、日本国籍を有する者が半数以上含まれることとする。（i-construction 分野の技術範囲等は、下段「10. その他（5）」を参照）
3. 助成期間： 令和7年4月1日から令和8年3月末日まで
4. 助成予定数： 14 件程度
（参考）採択率：平成30年度63%、令和元年度78%、令和2年度71%、令和5年度96%、令和6年度70%
5. 助成額： 100 万円以内／グループ
・ 学生個人（グループの代表者）に「学資金」として交付します。
6. 応募の手続き：
 - (1) 実施計画書（申請書）を提出していただきます。
 - ① 当財団所定用紙（Word）をホームページの研究助成 特別研究テーマの募集サイト（https://www.maedakksz.or.jp/kenkyu_theme/）よりダウンロードしてご使用ください。
 - ② 所定用紙には、研究目的、訪問国、訪問先や概略工程・旅程、研究や調査内容、概略費用の内容、将来への成果の活用等について記載して下さい。指導教員の推薦は必須です。進学や人事異動等により指導教員が変わる場合は、推薦された指導教員の責任で引継ぎをお願い致します。
 - ③ 所定用紙（Word ファイル）への入力完了したら、PDF を作成し、電子申請システム

(Graain) より両方をアップロードしてください。PDF にはパスワードやセキュリティ設定を行わないでください。また、ファイルの容量は 5MB 以内でお願いします。

※ ファイル名は、「特別テーマ申請書_氏名.pdf」で作成してください。

例 1) 特別テーマ申請書_前田太郎.pdf 例 2) 特別テーマ申請書_鈴木一郎.pdf

④ 電子申請システム (Graain) で応募ください。ログイン URL は当財団 HP を参照。

詳しくは、「操作マニュアル・13 ページ」を参照ください。

(2) 募集期間

令和 6 年 8 月 19 日 (月) ~ 令和 7 年 1 月 15 日 (水) 12:00 まで

7. 選考及び助成の決定

理事会の決定を受けた審査担当理事が審査・選考し、理事会にて決定後、令和 7 年 3 月末日迄には電子申請システム (Graain) より連絡します。

8. ヒヤリング会への出席 (実施予定: 令和 7 年 5 月 30 日 (金) 午後 12~14 時頃)

助成が決定したグループに対しては、令和 7 年 5 月 30 日 (予定) に申請書に基づいて、対面でのヒヤリング (JR 東京駅周辺の会議施設にて) を行います。その結果次第では助成を取り消すこともあります。なお、ヒヤリング会への交通費は別途支給します。

9. 研究成果について

令和 8 年 1 月末日を目処に報告書を提出していただきます。(それ以降に出発の場合は 3 月末日まで) 報告書は当財団の HP に掲載されますのでご承知おき下さい。また、所属機関の HP に掲載された場合は、財団事務局にご連絡ください。リンクを張らせて頂きます。なお、諸般の事情等で海外に渡航出来なくなった場合には、辞退届を提出して頂きます。

10. その他

(1) 旅程について

原則、海外においては全員同一旅程とします。全旅程においてグループ全員で一緒に交通手段に搭乗し、同一の施設に宿泊し、現地での調査活動によって個人の単独行動がやむを得ない場合も最小限にするようにしてください。

(2) 準備やビザ等の取得、海外旅行保険の用意について

当財団としては、本助成金を活用した研究活動において生じた事故、傷害、トラブル等については、その理由を問わず、一切責任は負いかねますのでご了承下さい。助成が決定した場合には、グループのメンバーは指導教員と相談の上、出発前までに適切に旅程を計画し、必要な航空券や宿泊施設の予約、予防接種、ビザ等を自ら準備すると共に、賠償責

任保険が付随した「海外旅行保険」に入ることを必須として、保険契約書の写しを財団に提出していただきます。

(3) 渡航判断について

渡航に際しては、外務省の「海外安全情報」「感染症危険情報」で渡航先の状況を把握し、所属する機関（大学等）の方針に従って下さい。特別な事情がない限り渡航判断は令和7年11月末日までには決定し、実施断念の際には当財団事務局に連絡を下さい。

(4) 助成金の交付について

所定の手続きが終了され次第、令和7年4月末日以降、出発日2ヶ月前までに代表学生個人名義の銀行口座へ送金します。送金後の助成金の管理は、受領した代表学生本人にて行って頂きます。

(5) 「i-construction 分野」の技術範囲

社会インフラや建築物の計画、設計、施工、保守管理、運用に至る全てのライフサイクルを対象とした、建設業の高度化・高信頼化、および国土・地域・都市・建築にかかわるイノベーションに寄与する情報通信技術を活用した建設技術を対象範囲とします。

具体的技術の例

- ① 計 画 : プロジェクト計画、プロジェクトシミュレーション、等
- ② 設 計 : 計画ツール、VR・AR・MR・SR、BIM/CIM、等
- ③ 施 工 : 施工計画・管理、センシング・モニタリング、自動化・ロボット化・機械化、
パワーアシスト、UAV、CPS、5G、等
- ④ 保守・運用 : プロジェクト情報管理、施設維持運用管理、FM、等
- ⑤ インフラ・建築DX : スマートシティ、Society5.0、スマートエネルギーマネジメント、等

【連絡、問い合わせ先】

住所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目3-1 一口坂中央ビル
公益財団法人 前田記念工学振興財団・事務局

電話 03-3222-6481 E-mail kinen.zaidan@jcity.maeda.co.jp

URL <https://www.maedakksz.or.jp>

以上